

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和5年7月～8月）

令和5年7月～8月の白石踊に関わる高校生・大学生の活動について報告します。

1. 白石踊鑑賞・体験ツアーのボランティア・ガイド

7月15日（土）、白石踊鑑賞体験ツアーが行われました。私はこの日ツアーガイドとして、白石島の観光案内をするという形で参加させていただきました。ツアーガイドをするのは私自身初めての試みで、大勢のツアー客の方々と共に白石島の歴史的で趣きのある場所を2時間ほどかけて散策しながら島のことや地元のこと、自分自身のことなど色々な話をしました。そして、ツアーの帰り際「今日は、すごく分かりやすい案内をしてくれてありがとね。踊りも初めてで不安だったけど、丁寧に教えて貰えて、道中でも沢山お話をしてくれてすごく楽しい時間を過ごせた」と仰っていただき、達成感と嬉しさで胸が一杯でした。

観光ガイドとして、一つ一つのスポットを説明したり案内したりするのはもちろん大切なことです。でも、そこに足を運んで下さった人たちの顔を見て、目を見て、話を聞いて、コミュニケーションをとって行くことこそ、人として大切な心のあり方だと痛感しました。慣れないことばかりでツアー前はとても不安でしたが、ツアーを通して声を掛けてくださった方々の温かい言葉には優しい温度があり、背中を押してもらえただけでなく、私自身の学びにもなりました。また、踊りや会話を通じて、誰かと時間を共有することで生まれるあの一体感はこの先も忘れないと思います。皆さんの優しい言葉にとっても励まされました。そして、暑さを忘れるくらいの良い経験となりました。

この経験を糧に、将来どんな職業についても、この日の出来事を活かして人と人との会話や心の声に耳を傾け、今後の人生に役立てていきたいと思っています。関わって下さった多くの皆様、足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

（文章：浅野 夢）



2. 白石踊鑑賞・体験ツアーに参加して

僕たち倉敷翠松高等学校の生徒は7月15日に白石島に行き白石踊鑑賞・体験ツアーに参加しました。当日は、早めに白石島に渡り、白石島内を観光しつつ、白石踊が踊られる浜辺のゴミ拾い活動も行いました。開龍寺や仏舎利塔にも行き白石島の良さを知ることができました。

その後、ツアー参加の皆さんが白石島にいらっしやいましたので、合流しました。開会の際には、島の方々に僕たち倉敷翠松高等学校の生徒が白石島の継承活動をしていることを紹介してもらいました。

ツアー参加者で初めて白石島に来られた方々に最初に白石踊の講習がありましたが、僕たち高校生が観光客の皆さんの近くで踊るようにして初めての方でも見よう見まねで踊れるようにとフォローしました。

衣装を着た白石踊会の方々が白石踊を踊られるのを鑑賞した後は、島の方々や観光客の方々と白石踊を踊りました。普段の白石踊の練習が生かされ、とても充実した時間を過ごすことができました。

(文章：難波凜久)



3. 高校生社会課題解決アイデアコンテスト 特別賞受賞

倉敷翠松高等学校では、探究活動の授業で白石踊について学んでいます。

私たちは白石踊でご縁ができた白石島の方々と交流するために年末の餅つき、しめ縄づくりに参加しようと思っています。

新学期になって、フードロス問題の解決に向けた取り組みの中で生まれた「コノヒトカン」という缶詰をどのような用途で使用するかを発表し、入賞したら缶詰をもらえて缶詰を活用するプロジェクトを実行するというコンテスト「コノヒトカン 1000 缶プロジェクト高校生社会課題解決アイデアコンテスト」があることを知りました。そこで、私たちは缶詰をもらって年末の行事でご飯を作って皆さんと一緒に分かち合いたいと思い、そのコンテストに応募しました。

多数の応募の中から、書類選考で上位 20 校に選ばれ、7月 22 日に岡山国際交流センターで行われたコンテストに出場しました。しっかり練習して本番に臨みました。白石島のことでなく、白石踊のことも紹介しました。白石島、白石踊のことを少しでも伝えることができたので良かったと思いました。どの学校もすばらしい発表でコノヒトカンを使った活動を計画していました。

審査結果は特別賞でした。入賞したものの缶詰をもらうには少し届きませんでした。缶詰をもらうことはできませんでしたが、年末の白石島での行事には、何らかの形で参加しようと思っています。

(文章：海老原悠生)



3. 風に立つライオン基金 高校生ボランティア・アワード全国大会出場

8月9日～8月10日に東京都新宿区の住友ビル三角広場で（公財）風に立つライオン基金主催の高校生ボランティア・アワード全国大会が開催されました。

全国の高校生の日頃の地道な活動を称え、そのボランティア活動をお互いに紹介して、発表する大会でした。全国から選ばれた高校生団体に私たちの白石踊継承活動のチームも入ることができました。

会場では各チームがブースで展示と説明をしました。私たちの活動を紹介する時間と逆に他のチームのブースを回る時間があり、私は全国の高校生の活動を見てきました。どこの高校生も自分達の活動を熱心に説明くださり、活気溢れる大会でした。

自分達もブースに来られるたくさんの方々に白石島や白石踊のことを話しました。

交流会の時間には、私たちは舞台上昇って白石踊を披露しました。この高校生の継承活動を最初に始めた渡辺陽先輩を含めて3人の先輩が大学生スタッフとして会場運営のお手伝いをしていましたので、大学生や先生も一緒に舞台上昇って、ブラブラ踊・男踊・月見踊・二つ拍子・笠踊の5つの踊りを披露しました。会場の高校生の皆さんには立ってもらってその場でブラブラ踊を一緒に踊ってもらい、一体感が生まれました。

この大会に参加して多くの高校生から刺激をもらいました。白石踊がこれからも引き継がれるように、私も活動を続けて頑張っていきたいと思いました。（文章：三宅美咲）



4. 他県の高校生との交流「静岡県島田市訪問」

8月10日～11日に静岡県島田市を訪問しました。静岡県立島田商業高等学校の皆さんは地元の大井川の宿場町や島田大祭（一般的に帯まつりと呼ばれる）という1695年(元禄8年)以来3年ごとに開催されてきた伝統のお祭りなど、歴史や伝統を踏まえて地域活性化の取り組みをされています。

私たちも白石踊という伝統文化の継承と地域を盛り上げたいとの思いで活動していますので、共通する部分があります。今回は島田商業高校の皆さんの活動を見学することと私たちの活動を紹介したいと交流しました。

私たちが島田市を訪問するにあたっては「島田市スポーツ・文化合宿」の制度を使わせていただきました。島田市役所の観光課にご案内いただいたり、島田大祭保存会の方々から島田大祭の説明をいただき、さらに貴重な帯の実物を拝見させていただきました。島田市観光協会の方にも歓迎いただき、本当にお世話になりました。



島田商業高校の生徒の皆さんには、木造歩道橋としては世界最長でギネス世界記録にも認定されている蓬萊橋や島田宿場の説明を現地で行っていただきました。「箱根八里は馬でも越すが 越すに越されぬ 大井川」と言われた、まさにその場所を体験することができました。



島田市は地理の教科書にも出てくる牧之原台地などでお茶の栽培が盛んです。「島田市緑茶化計画」という地域の活性化を図り、島田市の魅力を市内外に発信する取り組みがあると知りました。KADODE 00IGAWA(かどでおおいがわ)というお洒落な施設では食事や土産物の購入の他に、16種の茶葉をお湯の温度や抽出時間の差でバリエーションを楽しめる産地ならではのコーナーもありました。そのKADODE

OOIGAWA の脇を大井川鉄道が走り、たまたま機関車トーマスも通過していくのを見ることができました。



島田商業高校生や島田市観光協会の方々には KADODE OOIGAWA で 8 月 11 日は出店を出して販売や地元をテーマにしたゲームを来場者に楽しんでもらう準備をしておられました。私たちは帰りの電車の時刻という制約があったので夕方からのそのイベントには参加できませんでしたが、島田商業高校生が白石踊の PR のブースも設けてくださいました。



出店



白石踊紹介ブース

島田市の皆様、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

今度は島田商業高校の皆さんが笠岡市に来てくださることが実現できれば良いかと期待しています。



以上